



東北大学

オンライン配信あり

日時 2022年11月28日(月)~29日(火)

場所 金属材料研究所2号館講堂(現地参加は所内の方限定とさせていただきます)

※聴講無料、オンライン聴講の事前申し込み不要

実行委員 宮坂 等、宮本吾郎

11月28日(月)

13:30~13:40 所長挨拶 所長 古原 忠

特別講演



13:40~14:40

専門とは何か。

—「総合知」や「学際」の問い直しから見据える学問論—

京都大学学際融合教育研究推進センター 准教授 宮野 公樹

今日の大学を取り巻く状況に大満足である大学人は少ないだろう。かといって、霞が関や産業界にとってもまたそうであろう。これは一体何なのか?それは、考えることを考えるのが学問であること、そしてそれが許されるのが大学であること、この原点を横置きしてきたためと考える。本講演では、青臭い大学論、学問論に付き合っていた、大学人の内省とともに。

プロフィール

立命館大学工学部卒業。同大学博士後期課程修了。その後、McMaster大学、立命館大学、九州大学を経て2011年より現職。京大総長学事補佐、文部科学省学術調査官の業務経験も。研究・イノベーション学会理事、一般社団法人STEAM Association代表理事。近著は2021年2月発刊「問いの立て方」(ちくま新書)

14:55~15:55

恋愛下手? それじゃ科学は伝わらない ~何が人をその気にさせるのか~

物質・材料研究機構 マイスター(広報)、産業技術総合研究所 広報部審議役 科学技術振興機構 広報主監 小林 隆司



恋愛講座ではありません。研究を伝える話です。専門家以外の人に科学を伝える際、論理的であること以上に重要なのに、ほとんどの科学者が無視していることがあります。それは、ある「逆算」ができていないかどうかです。NIMSの広報で若者が人生の選択を変えた秘密。本にも教科書にもない「伝える技術」を体感してください。

プロフィール

大阪大学理学部卒業。1993年よりNHK科学番組ディレクター。「ためしてガッテン」「クローズアップ現代」「サイエンスゼロ」など。放送文化基金賞、科学放送高柳賞など。2011年より物質・材料研究機構 広報室。産総研 審議役/ JST 広報主監 兼務。文部科学大臣表彰、科学技術映像祭、PRアワードグランプリ最高賞受賞など

16:00~17:30 ポスターセッション

11月29日(火)

一般講演

午前の部

10:00~10:50

計算科学を用いた新セラミック材料の探索 教授 熊谷 悠

10:50~11:20

高温超伝導薄膜における超伝導ダイオード効果 准教授 土屋 雄司

11:20~11:50

力学作用によって誘起される化学現象の解明に向けたスーパーコンピュータ分子動力学シミュレーション 准教授 大谷 優介

午後の部

13:30~14:00

電場誘起表面電子系を用いた2次元超伝導物性の開拓 准教授 野島 勉

14:00~14:50

原子力の安全・安心のための材料科学的アプローチ 教授 永井 康介

14:50~15:40

金属積層造形で現れる不思議な現象? 教授 千葉 晶彦

16:00~16:30 ポスター 賞表彰

第143回 東北大学 金属材料研究所講演会

参加・聴講方法の詳細はこちら

金研講演会

検索



お問い合わせ先

金属材料研究所 情報企画室 広報班 TEL 022-215-2144 URL http://www.imr.tohoku.ac.jp/ E-MAIL k.kouen.imr@grp.tohoku.ac.jp